

コアとなる事業の概要3つ（事業のタネ）

活動地域・団体名：みなべ・田辺地域世界農業遺産推進協議会

今後地域の将来像を実現するために取り組む事業を3つ書いてください。

1 事業名称：梅加工時に発生する調味残液の有効活用事業		
事業概要	事業の内容	現時点で想定される課題・ボトルネック
みなべ・田辺地域内の事業者が既に取組んでいる調味残液を活用したバイオガス発電に対する理解を深め、環境負荷の軽減に寄与できるかなども見極めながら、効果があると判断できる場合はその活用を推進し、産業廃棄物の排出削減と地域内でのエネルギー循環を推進していく。	①なぜこの事業をやるのか(Why)	特定の事業者が取組めればかりであるため、どれだけの効果があるか未知数である。事業の採算性も含め見極めていく必要がある。
	②どの地域資源を活用するか	
	③商品・サービスの具体的な内容は何か(What)	
	④誰がこの事業の主たる担い手か(Who)	
	⑤この事業により地域内で何が循環するか またはどのような循環が起こるか	
		課題・ボトルネックを乗り越えるために力を借りたい人物・企業像
		既に構築されている民・学・官の連携により地道に進めていく。

2 事業名称：木質バイオマス熱供給による脱炭素化事業		
事業概要	事業の内容	現時点で想定される課題・ボトルネック
地域内で既に導入されている温泉の新ボイラーやエリア外となるが近隣で進められている木質バイオマス発電の取組を参考に、梅の剪定枝、紀州備長炭の原木確保の際に発生する枝葉、間伐残材等のバイオマス利用について理解を深め、効果があると判断できる場合はその活用を推進し、エネルギーの自給自足と地域経済循環の向上、CO2の削減、管理の行き届かない森林面積の減少を目指す。	①なぜこの事業をやるのか(Why)	特定の事業者が取組めればかりであるため、どれだけの効果があるか未知数である。事業の採算性も含め見極めていく必要がある。
	②どの地域資源を活用するか	
	③商品・サービスの具体的な内容は何か(What)	
	④誰がこの事業の主たる担い手か(Who)	
	⑤この事業により地域内で何が循環するか またはどのような循環が起こるか	
		課題・ボトルネックを乗り越えるために力を借りたい人物・企業像
		既に構築されている民・学・官の連携により地道に進めていく。

3 事業名称：世界遺産を訪れる観光客の流れを変える事業		
事業概要	事業の内容	現時点で想定される課題・ボトルネック
みなべ・田辺地域の近隣には、熊野古道が存在。世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」として登録されており、多数の観光客が来訪している。観光事業者や地域住民が連携し、農泊や農業体験など新たな商品を開発することで、地域外からみなべ・田辺地域への来訪者を増加させ、みなべ・田辺のファンを増やし、地域を支える関係人口の増加を目指していく。	①なぜこの事業をやるのか(Why)	当該事業に取り組もうとする人材の不足
	②どの地域資源を活用するか	
	③商品・サービスの具体的な内容は何か(What)	
	④誰がこの事業の主たる担い手か(Who)	
	⑤この事業により地域内で何が循環するか またはどのような循環が起こるか	
		課題・ボトルネックを乗り越えるために力を借りたい人物・企業像
		既存のステークホルダーには、観光事業者が存在。その団体の取組により世界遺産を訪れる観光客は年々増加しているため、その知見を生かし目的が達成できるよう取り組んで行く。